

小田原市立病院経営計画（経営強化プラン）の策定に対する市民意見の募集結果について

1 意見募集の概要

政策等の題名	小田原市立病院経営計画（経営強化プラン）の策定
政策等の案の公表の日	令和6年2月1日（木）
意見提出期間	令和6年2月1日（木）から令和6年3月1日（金）まで
市民への周知方法	意見募集要項の配布（市内公共施設、ホームページ、経営管理課窓口）

2 結果の概要

提出された意見は、次のとおりです。

意見数（意見提出者数）	6件（1人）
インターネット	1人
ファクシミリ	0人
郵送	0人
直接持参	0人
無効な意見提出	0人

3 提出意見の内容

パブリックコメントで提出された意見の内容とそれに対する市の考え方は、次のとおりです。

〈総括表〉

区分	意見の考慮の結果	件数
A	意見を踏まえ、政策等に反映したもの	1
B	意見の趣旨が既に政策等に反映されているもの	2
C	今後の検討のために参考とするもの	3
D	その他（質問など）	0

〈具体的な内容〉

(1) 地域の医療機関との連携に関すること

	意見の内容（要旨）	区分	市の考え方（政策案との差異を含む。）
1	市立病院は、診療科ごとの判断により、かかりつけ医からの紹介による受診とすべき。	B	市立病院は、地域医療支援病院として、今後も地域の医療機関との役割分担を尊重し、一部の診療科を除き、原則紹介による受診といたします。
2	市立病院は、行政や医師会と連携し、地域拠点や生活拠点に、必要な医院が配置されるよう協働すべき。	C	小田原市は、医療・福祉・子育て・商業等の居住に関する多様な都市機能を包括的に対象とした「立地適正化計画」を策定しており、医院は拠点に立地していることが望ましい生活サービス施設として位置付けられていますが、その配置についてのご意見として、今後の参考とさせていただきます。
3	医療過疎と思われる地域については、今後考えられる公共施設等の再編や更新と連携し、補助金等も活用して医院の立地を支援すべき。	C	小田原市は、医療・福祉・子育て・商業等の居住に関する多様な都市機能を包括的に対象とした「立地適正化計画」を策定しており、医院は拠点に立地していることが望ましい生活サービス施設として位置付けられていますが、その立地に対する施策についてのご意見として、今後の参考とさせていただきます。
4	地域の医療機関に対し、市立病院の医師の派遣等を行って人的にサポートすべき。	B	市立病院は、地域の医療機関に対して、必要に応じて医師・看護師等の派遣を行うなど連携・協力を努めており、今後も地域全体で医療提供体制を支えていきます。
5	市立病院と地域の医療機関とが、電子カルテやリモート診療などの設備共有で協働すべき。	A	市立病院と地域の医療機関が連携し、地域内で適切な医療が提供できるよう、円滑なシステムの構築を推進します。また、市立病院のMRIやCTなどの高度医療機器を地域の医療機関が利用する共同利用についても、引き続き推進するため、記載をより具体的に修正しました。

6	市立病院は、診療科ごとに支所・分院として地域の施設を経営することを検討すべき。	C	市立病院は、地域医療支援病院として、今後も地域の医療機関との役割分担を尊重していくことから、今後の参考とさせていただきます。
---	---	---	--

4 提出意見と関係なく変更した点

	政策案との差異	市の考え方
1	21 P 「詳細施策」の「運営（経営）的視点」に、「三次救急医療機関として、重症患者をはじめとした救急患者を積極的に受け入れていきます。」の項目を加えます。	令和6年2月1日に開催された小田原市議会厚生文教常任委員会において本計画案を報告した際に、各委員よりいただいた意見を反映し、項目の追加や記載の表現を修正します。
2	27 P 「詳細施策」の「運営（経営）的視点」の下段、市立病院と県立足柄上病院との連携の記載について、「人事交流や防災協定などにより、平時のみならず有事においても地域の基幹病院としての機能が確保できるように、連携強化と機能充実に取り組んでいきます。」と表現を改めます。	
3	28 P 「詳細施策」の「運営（経営）的視点」に、「地域医療機関との連携推進や患者がよりスムーズに受診できるように、院内各診療科間の連携や医療スタッフ間の協力体制を充実させていきます。」の項目を加えます。	
4	32 P 「詳細施策」の「人的視点」に、「女性医師をはじめとした女性の医療スタッフにとっても働きやすい環境となるよう職場環境やワークライフバランスがとれる勤務環境の整備を今後も取り組んでいきます。」の項目を加えます。	

5	14・15P「収支シミュレーション」表中、令和6年度の数值について、令和6年度当初予算の予算額を反映しました。	令和6年度の数值については収支シミュレーション上の想定数值としておりましたが、小田原市議会の議決を得たことにより、当初予算書の予算額に修正します。
6	25P「KPIの過去の実績値」表中、平均在院日数の区分において、R元年度の数值を11.8、R2年度の数值を12.3、R3年度の数值を12.3、R4年度の数值を12.2とします。	過去の平均在院日数の計算根拠に誤りがあったため、正しい数值に修正します。